

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブ 千里丘校

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	・集団・個別共に適切なスペースになっている。 ・パーティションを用いて個室を作っている。	・引き続き実施していく
	2 職員の配置数は適切である	6	1	0	・利用人数に対して適切な人数、またそれ以上の人数を配置している。	・引き続き使用していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	0	・施設がビルである関係上、行えていない部分がある。	・引き続きわかりやすい環境設定を目指していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	0	・随時、業務・児童対応等の目標設定し、振り返りを行い目標の再設定を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	・可能な限り意向を反映し、改善を行っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	0	・ホームページにて掲載している。	・より広く認識され確認してもらえるよう周知に努める
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	3	・第三者機関による評価は実施していないものの、内部の本部スタッフによる点検を実施し、指摘事項の改善に努めている ・相談支援員さんの訪問を積極的に受け入れている。市の専門職の方に療育内容を見ていただき、フィードバックを受けている。	・第三者評価に関しては今後の検討課題としていく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	・年に数回、全校舎や地区での研修会を行っている。 ・定期的な研修、関東と合同の研修会を実施して職員の資質の向上に努めている。	・引き続き職員の資質向上を図るため定期的実施していく
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・保護者の意向、事業所として必要と感ずることを提供計画に入れ込んでいる。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	0	・外部から提供されたツールの結果や独自のツールを使用しているが、全児童に対しては行えていない。	・今後標準化をしていけるよう検討していく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	0	・メインの担当者があり、その都度他スタッフに役割を分担している。	
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・テーマ(SST,理科実験など)は同じものであるが、内容は毎回違うものを行っている。	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3	0	・利用時期に応じて、スケジュールを設定し適切な対応を行っている。	・引き続き継続して行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・個別・集団それぞれの活動に応じて、対応している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	・朝か開所直前までに支援の内容、児童共有等を行っている。	・引き続き継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	0	・その日の間に児童共有を行い、難しければ記録に残し後日共有を行っている。	・引き続き継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	・記録は毎日行っており、職員と共有し支援内容に反映している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0	・モニタリング以外にも保護者とコミュニケーションを取り、支援内容に反映している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2	0	・普段の活動・イベントに入れ込んでいるが、地域交流は難しい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	0	・生徒について把握している児発管もしくは児童と深く関わりのあるスタッフが参加するように対応している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	3	0	・児童の事業所・学校の様子の共有は行い事があるが、学校のスケジュールに関する共有は行っていない。	・継続して対応していく ・行事の把握等も今後視野に入れ情報共有出来るよう努める
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	1	・医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていない。 ・現在、該当者は居ないが連携体制を整えている。	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	・児童発達支援から利用していた児童に関しては情報共有を行っているが、放課後等デイサービスから利用されている児童に関しては行っていない。 ・電話や訪問にて連携を積極的に図っている。	・引き続き対応していけるよう努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	1	・現利用者に移行した児童がいなかったため現状は行っていない。	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	0	・専門機関のスタッフに現場に入っていただき、助言・研修を行っていただいている。	・引き続き連携を深めていけるよう努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	4	・現状交流は行っていない。 ・今後、地域との交流を目的としたイベントを実施していきたいと考えている。	・今後は交流の機会を設けていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	1	・極力参加するようにしている。	・引き続き継続していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	・お迎え時や振り返りなどを通して、児童の状況を共有している。	・引き続き継続していく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	0	・保護者からのリクエストに応じて、対応に関する情報共有を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	・契約時には説明を行い、質問があった際にも対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	・その都度対応を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	1	・保護者同士が話す場を提供している。 ・わくわくカフェを定期開催できるようにして、保護者同士の連携を支援していく。	・交流の機会を増やしていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	・苦情に対する体制を整備しており、適宜対応している。	・引き続き継続し、共通理解を深めていけるよう努める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	0	・ホームページに取り組みの内容を掲載している。	・引き続き継続して行う

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
35	個人情報に十分注意している	7	0	0	・個人情報は鍵のかかるロッカーに保管している。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	・児童・保護者それぞれに意思・情報が伝わるように工夫している	・引き続きより意思疎通出来るよう努める
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	3	・地域交流のイベントは現状行っていない。	・今後は交流の機会を設けていきたい

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	5	2	0	・各マニュアルは作成し ているが、保護者と全て を共有は出来ていな い。	・周知出来る方法を検討し 実行していく
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6	1	0	・定期的に防災に関す る取り組みを行い、非常 階段の訓練を行ってい る。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	6	1	0	・年に数回研修会を行っ ている。	・引き続き継続して行う
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	6	1	0	・必要な児童に対して保 護者への説明を行い、 サービス計画に記載し ている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	3	3	0	・保護者とアレルギーの 共有を行っているが、医 師からの指示書には基 づいていない ・医師の指示書に基づく 対応が必要な該当者は 現在通所していない。 保護者の方より初回ア セスメント時に情報共有 を受けて対応している。	・指示書がある場合には共有してもらい その内容に沿って対応していく
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	6	1	0	・その都度作成し、校舎 間で共有している。	・まずは日々のヒヤリハットを しっかり記録し残していく	